専用船ご苦労さま

わかば丸
ふたば丸

老朽化で廃船

新造船を期待　運営協は強化存続へ

【関西支局】さようなら、専用船――近畿や四国・九州地区の高校生から親しまれていた関西汽船（藤井敬一郎社長）の修学旅行専用船「わかば丸」「ふたば丸」は、就航後すでに十年あまりを経過、安全を念願とする同社では近畿地区修学旅行専用船運営協（坪井明会長）と相談、これを昨年限りで廃船にすることを明らかにした。関西汽船では代替船でいままで通り修旅生の輸送を行い、近い将来には新船建造にとり組むため計画を検討中である。

新鋭観光船で代替

近畿地区修学旅行専用船運営協議会では昨年十二月二十六日、大阪市北区の関西汽船本社に坪井会長はじめ全修協山本種一理事長、関西汽船山本秀雄副社長、同甲斐素雄諸氏のほか全役員が出席して協議会を開いた。

会長挨拶のあと関西汽船の稲葉洋文営業部長から修学旅行専用船「わかば丸」「ふたば丸」の老朽化が目立ち、安全確保のため昨年限りで廃船にする旨報告があり、その代替として同社の大型新鋭船を利用、さらに新しく専用船の建造を検討中であると説明した。同協議会としては、あくまで組織を強化のうえ存続し新船誕生まで代替船利用の輸送計画を行うことを決定した。

前記のほか、当日の出席者と役員は次の通り。（敬称略、★印は新役員）

▽会長＝坪井明（元大阪府立天手前高校長）▽常任幹事＝岡田太郎（東大阪市立日新高校長）服部梶蔵（京都市立堀川高校長）稲葉洋文★（関西汽船営業部長）▽委員＝永野田太郎（三重県立上野高校長）林宏朗（和歌山県立和歌山工業高校長）西野俊夫（奈良県立郡山高校長）竹倉新★（大阪府立天王寺高校長）魚谷時太郎★（全修協兵庫県支部長）▽参与＝山下尚志（元神戸市立兵庫商業高校長）馬場正男（元滋賀県立大津高校長）▽事務局＝局長・矢野福夫★（関西汽船営業部次長）次長・小西惣一郎（全修協大阪事務所長）

【解説】修学旅行専用船は近畿地区から九州方面へ行く高校生のため全修協の山本理事長が近畿二府四県高校長会の希望によって関西汽船に要請して建造された。「わかば丸」（一〇四四㌧）は昭和三十七年四月、さらに四国、九州地区修旅生のために同三十九年四月に第二船「ふたば丸」（一〇八〇㌧）が大阪―別府間に世界最初の〝海の教室〟として誕生。近畿地区からは年間約百六十校五万人、その他の地区から約百五十校四万千人の生徒が利用した。四十三年三月には延べ百万人輸送を達成、盛大な記念行事が行なわれたことも思い出のひとつ。

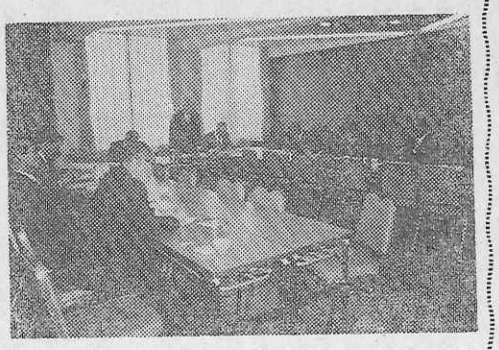
研究発表会を開く

関修委が大宮市で

【関東支局】関東地区中学校修学旅行委員会（佐藤武男会長）の四十九年度研究発表会は三月十日（月）午前十時から正午まで大宮市の埼玉銀行大宮支店講堂で開催する。修学旅行の実践発表や講演が予定されている。

ひかり号を2本に

関修委で申請きめる



【関東支局】関東地区中学校修学旅行委員会（佐藤武男会長）の四十九年度第四回運営委員会（桃田勝次委員長）は十二月十日午前十時から東京都新宿区の都教育会館で開催。

佐藤武男会長と白滝末紀全修協事務局長の挨拶、岩崎武夫運営委員（全修協研究調査部長）から経過報告が行われたあと協議に入った。

①五十一年度新幹線修学旅行専用列車は四月十一日から開始し、現行の東京発午前八時十二分は継続、もう一本のひかり号を午前九時三十分―同十時間の設定を申請する。（現在の東京発十前十時五十二分では遅すぎるため）

参加生徒は十二万人を越える見込みなので、両列車あわせて百二十本以上を強く要望する。学校諸行事との関係を考慮し、七月上旬には終了したい、としている。

申請書提出のばあいは関修委全役員が国鉄に出向くことを決定。

そのほか関修委運営の方策について協議を重ねて午後一時すぎ閉会した。

当日の出席者は次の通り。（敬称略・順不同）

【会長】佐藤武男（茨城）【運営委員長】桃田勝次（埼玉）【運営副委員長】伊藤守（栃木）【運営委員】栗木正（茨城）道祖士正郎（同）ほか【写真は同運営委】（埼玉）中沢長蔵（同）金子善壱（千葉）酒井宝祐（同）白滝末紀（全修協）岩崎武夫（同）嶋津佃

四国と九州ふえる

近修委の調査　新幹線増発を要望

【関西支局】近畿修学旅行委員会（粕本典男委員長）では去る十一月二十九日午前十時から大阪市天王寺区の府教育会館で五十一年度修学旅行希望調査結果について説明を行い、中国、九州方面への希望が予想外に多いため山陽新幹線二本を運行するよう国鉄に要望することを決めた。また、秋季の信州方面は希望が少ないので春季だけとした。方面別の希望、人員校数と国鉄申請の列車、期間の原案は次の通り。

【人員と校数】

▽関東方面六三、一七六名（三二〇校）▽信州方面四七、四三二名（一三八校）▽中四国・九州方面八〇、七四三名（二四九校）▽このほかに学校独自のもの二、一〇一七名（一〇三校）がある。

【方面・列車別と期間】

▽関東方面A列車五月十五日―六月二日（十九日間）▽同B列車五月七日―六月二日（二十七日間）▽同C列車五月十五日―同二十六日（十二日間）

▽信州方面（春イ）五月十二日―六月二十四日（四十四日間）（同ロ）五月十七日―同三十一日（十五日間）

▽中国・九州方面五月八日―七月十一日（六十五日間）

▽関東方面（秋）十月十二日―同十七日（六日間）

当日の出席者は次の通り。（敬称略・順不同）

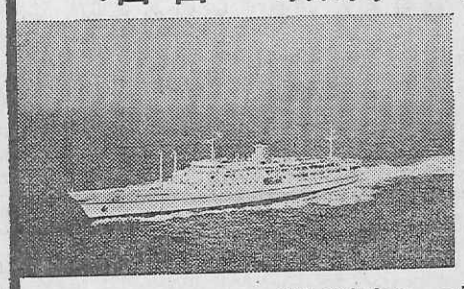
▽委員長・粕本典男（大阪市立西中学校長）▽委員・北牧一雄（枚方市第一中学校長）楓三郎（京都市立洛南中学校長）橋本寺夫（第三乙訓中学校長＝弓削輝一氏の代理）島津富治（神戸市立本山中学校長）柴崎博（西宮市上甲子園中学校長）堀川武史（奈良県斑鳥中学校長）今居利之助（滋賀県甲良中学校長）国島恵瑞（滋賀県米原中学校長）玉置修巳（和歌山市城東中学校長）のほか高島一男（大阪市城東第五中学校長）に事務局員、旅行関係者。

運動の強化を決定

埼玉県修旅委で

【関東支局】埼玉県中学校修学旅行委員会（桃田勝次委員長）では十二月九日、浦和市の岸中学校で委員会を開いた。桃田委員長は当面の対策として「県内中学校のうち、われわれの組織に加わらず単独で修学旅行をやっている学校もあるが、それらは新幹線利用のばあい、特急料金の半額が認められず、その分だけ父兄負担が多くなっている。われわれは運動をさらに強化して、全部の中学校が修旅委に加わり、その特典を得るよう努力すべきだ」と発言、了承を得た。

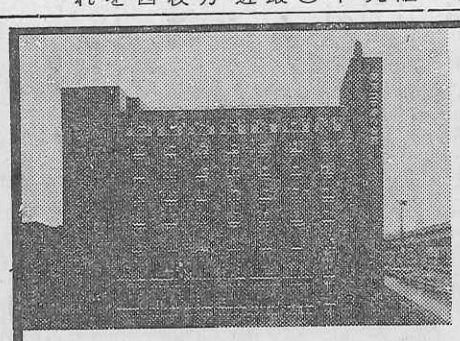
若者・紺青の海・純白の船



貸切専用純客船
ふ　じ　(3,000トン)
にほん丸　(3,000トン)

• スケジュール・コースはご自由に
• 旅客定員 1,800名
• サロン・休憩室・医務室完備
• 船内でのグループ活動・学習に最適
• 全室エアコン完備
• 一般客との混乗なし

Ⓐ大島運輸株式会社東京支店　東京都中央区日本橋通1－3－11 浅野ビル9F　TEL 03-273-8911



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

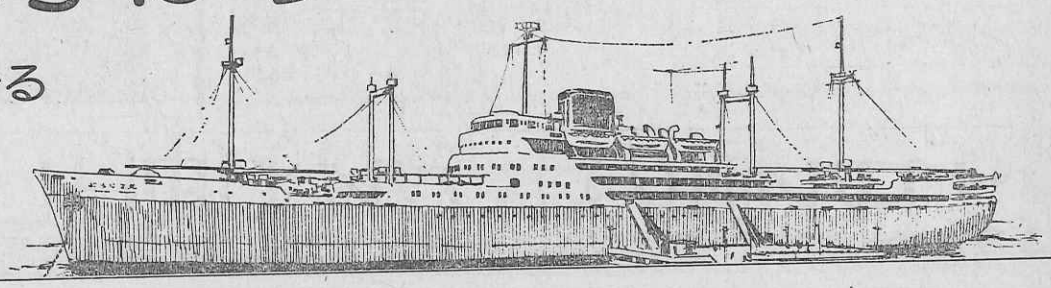
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)

東京 コマ旅行会館

ぶらじる丸と学ぼう

●海と船のことなら 何んでもわかる
楽しさいっぱい1万トン!!



鳥羽駅前

海洋パビリオン
鳥羽ぶらじる丸
鳥羽ぶらじる丸観光株式会社　TEL 05992-5-3211

一万基以上の古墳が

古代の群馬を探る

石井清二郎

＜6＞

石井清二郎氏

（六）豪華な上毛の古墳文化

国鉄高崎線で東京から高崎に下る。新町の神流川の鉄橋を渡って群馬県に入る。車窓から左右の平地を眺めると家屋が増加したもののところどころに、こんもりした丘が点点として指摘できる。高崎駅の手前では浅間山（せんげんやま）の大前方後円墳を左手指呼の間に見ることができる。この辺は鶴巻古墳群と呼ばれる大小の古墳の所在する地域である。群馬県は至るところに古墳が見られ、その数は日本一ともいわれている。したがって人びとの古墳に対する関心も深く、古墳文化の研究も非常に進んでいる。組織的研究の端緒を開いたのは私見によれば、昭和十年、敬神崇祖の念の涵養を目指して、時の群馬県知事薄田氏が行わせた全県の古墳調査であった。筆者もその際の調査員の末端をけがしたが、この結果をまとめ群馬県古墳総覧として出版された。これによるとその時調査され、記載された古墳数は八、四二三基である。

その後の発見にかかるものを加えると二万基に余る大小の古墳が造られたと考えられている。が現在国土開発の名において郷土の破壊も進み完全な形で残存するものは総覧記載数の三分の一位と推定されるのは遺憾の極みである。総覧によって群馬の古墳を概観すると、数については前記の通りであり、形式については円墳（最多数）前方後円墳（約四〇〇基）前方後方墳（数基）方墳（同）の各種であり、それぞれの変形もありまことに多様である。さらに埴輪からいえば全長二一〇㍍におよぶ太田の大神山や高崎市の観音塚のように大和の石舞台よりも大きな横穴式石室をもつ前方後円墳もある。

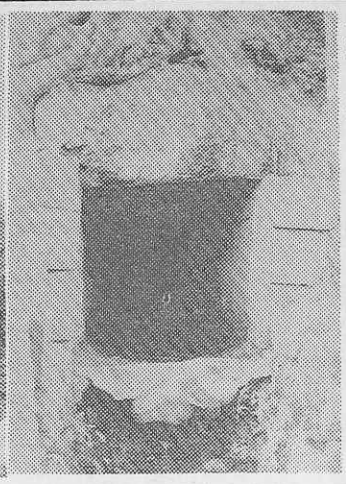
また、出土品も多彩であり、副葬品の特異性（鈴鏡の如き）質の高さ、埴輪類の量の多さ、および形象の傑出なども指摘し得る。

群馬県の古墳研究の進展は群馬大学名誉教授尾崎喜左雄氏によるところが極めて多い。氏の三十余年の真摯犀利な研究とその研究室出身の門下の絶えざる研究が群馬の古墳を眠りから覚まさせ、その文化の花を咲かせたのである。とくにこの研究において特筆すべきことは、古墳の編年の完成である。尾崎氏は浅間山および榛名山の二つ岳の噴火による浮石層と古墳の関係に着目して二つ岳の噴火はA・D六〇〇前後一〇年と断言できるまで研究を深め、これによる一連の古墳の編年に成功したのである。

古墳の埋葬者の推定は、かつて後藤守一氏が「一斗枡一ぱいの米の中から目を閉じたままで所期の一粒を拾いあげるよりまだ難かしい」と言われたが、本県では山上碑が山上古墳の墓誌であるとの研究が実を結んで埋葬者が明らかとなった。これも大きな成果である。

考古学は四世紀―八世紀の上毛野の文化を古墳をとして美事に語らしめているのである（つづく）＝群馬県中学校長会長・関修委副会長・群馬県群馬郡箕郷中学校長＝

高崎市の浅間山古墳。



山上古墳の石室入口

群馬県内のおもな古墳

（◎前方後円墳、○円墳、△たてあな式、×横あな式の石室、（国）は国指定史跡、（県）は県指定史跡）＝「群馬の歴史」から＝

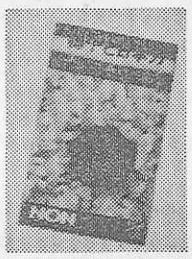
古墳名	形	内部	所在地	古墳名	形	内部	所在地
二子山（国）	◎		前橋市天川町	稲荷山	◎	△	藤岡市白石
二子山（〃）	◎	×	〃 総社町	七輿山（国）	◎		〃 上落合
愛宕山	◎	×	〃 〃				
宝塔山（〃）	方形	×	〃 〃	茶臼山	○	△	富岡市南後箇
蛇穴山（〃）	○	×	〃 〃				
オブ塚	◎	×	〃 勝沢町	笹森稲荷	◎	×	甘楽郡甘楽町福島
正円寺	◎	△×	〃 堀之下町				
天神山	◎	△	〃 後閑町	二子塚	◎	×	安中市築瀬
				二軒茶屋	○	×	〃 西上秋間
八幡山（国）	前方後方		〃 朝倉町				
前二子（〃）	◎	×	〃 西大室町	丸塚山	◎	△	伊勢崎市本関町
中二子（〃）	◎	×	〃 〃	稲荷山		×	〃 稲荷町
後二子（〃）	◎	×	〃 〃	お富士山	◎	△?	〃 安堀町
				華蔵寺	◎	△	〃 華蔵寺町
大胡5号	○	△	勢多郡大胡町				
〃 6号	○	△	〃 〃	とどろ山A	◎	×	佐波郡赤堀村今井
堀越	○	×	〃 〃	〃 B	○?	△	〃 〃 〃
鏡手塚（県）	◎	×	〃 粕川村月田	〃 C	○?	△	〃 〃 〃
壇塚（〃）	○	×	〃 〃	茶臼山	◎	△	〃 〃 〃
九十九山	◎	×	〃 富士見村	洞山	◎	×	〃 〃 五目牛
ボンボン塚	○	×	〃 〃	洞山西南		×	〃 〃 〃
				達磨山	○	△	〃 〃 〃
山の上（国）	○	×	高崎市山名町	蕨手塚	○	△	〃 〃 〃
浅間山（〃）	◎		〃 倉賀野町	淵名1号	○		〃 境町上淵名
大鶴巻（〃）	◎	△	〃 〃	〃 4号	○	×	〃 〃 〃
小鶴巻	◎	△	〃 〃	軍配山	○		〃 玉村町角淵
観音山（〃）	◎	×	〃 綿貫町	梨木山	○	△	〃 〃 下茂木
不動山	◎	△	〃 〃				
将軍塚	前方後方	△	〃 元島名町	天神山（国）	◎	△	太田市内ケ島天神
				女体山（国）	◎		〃 〃 女体
観音塚（国）	◎	×	〃 八幡町	中原	◎	△	〃 高林中原
平塚	◎	△	〃 〃	朝子塚	◎	△	〃 牛沢朝子塚
				小谷場		△	〃 〃 小谷場
薬師塚	◎	△	群馬群群馬町	鶴山（県）	◎	△	〃 鳥山八幡林
八幡塚	◎	△	〃 〃	矢場観音山	◎	△	〃 矢場
愛宕塚	◎	△	〃 〃				
シドメ塚（県）	◎	×	〃 榛名町	二ツ山（県）	◎	×	新田郡新田町
上芝	◎		〃 箕郷町	西山（〃）	◎	×	〃 藪塚本町
				北山（〃）	○	×	〃 〃
高塚（県）	◎	×	北群馬郡榛東村				
南下	○	×	〃 吉岡村	筑波山	◎	×	邑楽郡板倉町岩田
虚空蔵塚（県）	○	×	渋川市北原	舟山	◎	×	〃 〃 〃
				西丘神社	○	△	〃 〃 西岡

本

優れた科学性 日本人の知恵

〝梅干と日本刀〟

国学院大学教授・文学博士 樋口清之著



「いわゆる近代科学というものは欧米の生んだものである。その分析公式化の様式をとらないからといって、日本のいわゆる科学性が低いときめてかかることは基本的に誤っている」と序文に述べられているように、本書は日本人が昔から持っていた生活についての高度な水準を、つねにわれわれの周囲にみられる物象について興味ぶかく物語る。そして「日本人が科学的でなかったという先入感にとらわれて、よく見ようとしなかったのと、この原理を経済的知識に終わらせて公式や方程式化しなかったので科学性が低いと誤解した」と指摘する著者は、その博識と洞察力を駆使、日本人の衣食住を三本柱に測量や建造物、灌漑から食生活、農耕あるいは芸能などを説明する。「第一章・日本には古来、すごい〝科学性〟があった」「第二章・驚くべき〝自然順応〟の知恵」「第三章・日本人は独創性に富んでいる」「第四章・住みよい〝人間関係〟を作った日本人」に分け、八十項目にわたる例証をあげている。いまでは日常茶飯事として無関心のままでいるわれわれの生活のなかに、祖先が残していった多くの知恵が存在していることに一驚するだろう。「三十三間堂」「藤原京」「正倉院」「登呂遺跡」「伊勢神宮」「東大寺大仏殿」など修学旅行地の事物もとりあげられていて、生徒指導のためにも大いに参考となる。（新書判一三二頁、五五〇円。ノン・ブックのシリーズ第六九編。祥伝社発行、小学館発売）＝写真は「梅干と日本刀」＝

「近畿の旅」完成

関修委監修・関東五県修旅委が編集

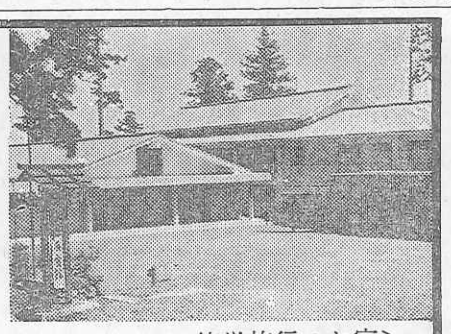
中学生の修学旅行ガイド・ブック「近畿の旅」が関修委監修、関東五県の各中学校修学旅行委員会の編集で教材研究所から発行されることになった。ポケット判で、64ページ、総アート紙を使用、写真や図版が豊富で解説も平易、旅行先きでの好資料となろう。一冊百円。希望校は部数をとりまとめて県の中学校修学旅行委員会へ申し込む。

霊峰比叡でお泊りを

■素晴らしい琵琶湖の夜景
■根本中堂で早朝の座禅
■スッキリした気分で次のコースへ
■夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕

☆本館☆第1別館☆第2別館☆別館比叡

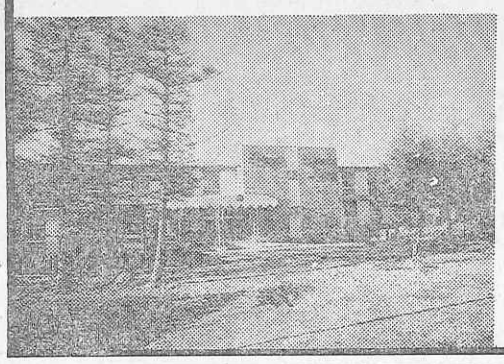
別館 比叡 8月1日オープン



＜修学旅行のお宿＞

比叡山 延暦寺会館
ENRYAKUJI KAIKAN
0775－78－0047・0554

■ひろがる緑の高原■そそりたつ日本アルプス連峰
■澄みきった空と湖



自然のなかのチロル風ホテル

＜修学旅行に最適＞

清風園
女神湖ホテル
長野県北佐久郡立科町芦田
TEL 026755－6006 〒384-23

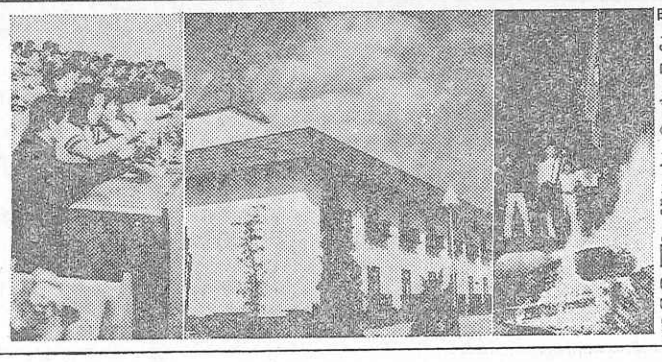
案内所 ■東京03－844－1710・1801 ■中部0587－66－2121 ■名古屋052－962－0585 ■大阪06－304－1024

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》

●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

鈴鹿国定公園・国民休暇指定地
スズカランド 鈴鹿サーキット
三重県鈴鹿市稲生町
電話＝0593〈78〉1111

株式会社ホンダランド
本社：東京都中央区八重洲5-5 ☎03〈274〉5821
大阪営業所：大阪市北区南扇町15 ☎06〈313〉0841